

2015 春日井市民第九演奏会



指揮
井村 誠貴



ソプラノ
奥村 育子



アルト
大田 亮子



テノール
大久保 亮



バリトン
松下 伸也

とき **2015年12月6日 (日)**
15時開演 (14時30分開場)

ところ **春日井市民会館**

入場料 **A席 1,500円 B席 1,000円** [全指定席・税込]

※就学前のお子様の入場はお断り申し上げます。
※当日券は、販売できない場合もありますので、チケットは事前にご購入下さい。

指揮 ■ 井村 誠貴
ソプラノ ■ 奥村 育子 アルト ■ 大田 亮子
テノール ■ 大久保 亮 バリトン ■ 松下 伸也
管弦楽 ■ 春日井市交響楽団
合唱 ■ 春日井市民第九合唱団 合唱指導 ■ 松下 伸也
曲目 ■ 源田俊一郎 編曲『ふるさとの四季』より
「故郷」「春の小川」「夏は来ぬ」「紅葉」「雪」
ベートーヴェン 作曲
交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

チケット取扱い場所 [10/7(水)より発売]

■ 文化フォーラム春日井 ■ 東部市民センター
(2F文化情報プラザ)

※車椅子席は、文化フォーラムでのみお取り扱いいたします。

主催 / 春日井市・春日井市教育委員会
(公財) かすがい市民文化財団
春日井市民第九演奏会実行委員会

共催 / 春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団

後援 / 中部大学・中日新聞社

魅了し続ける「春日井第九」

「春日井第九」はなぜ人を魅了し続けるのであろうか？4年目を迎えた私との「春日井第九」。指揮者にとって4年も継続して一つの作品を追求できる事はこの上ない喜びである。よく「同じ第九を同じ団体と繰り返し演奏して、飽きないのか？」と聞かれるのだが、私はいつもこう答える。「演奏するもの同士が、回を重ねていくごとに理解を深め、より良い音楽が創造されていく」。そして答えはさらにこう続く。「何よりも演奏のレベルを高めるものは、人と人が理解し合い大切な仲間になっていくこと。音楽をする前に、一人の人間として、信頼や絆を深める事こそが、より良い演奏へと導いてくれる」。それこそが今も「春日井第九」が愛され魅了し続けられる原点ではないだろうか。それを裏付ける様に「春日井第九」は毎年進化し続けている。だからこそ「今年の春日井第九はどんな演奏になるのだろうか？」というお客様が年々増え続けているのだ。ベートーヴェンとシラーによって創造された奇跡のシンフォニー！そして春日井が育んできた人と人の絆を貴方も一緒に体感してみませんか？

音楽監督・指揮者：井村 誠貴

PROFILE

指揮 井村 誠貴 Masaki Imura

1994年大阪音楽大学コントラバス科を卒業。在学中よりオペラ指揮者として研鑽を積み、これまでにオペラレパートリーも50演目を超える。2013年には、年間オペラ公演回数日本人第1位に入るなど、その地位を確立している。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心に芸術鑑賞会を全国展開。名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、京都市交響楽団、大阪交響楽団等を客演。また、岐阜県交響楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらに、大阪市音楽団、ナゴヤ・ディレクターズ・バンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カーजू・オブ・フォール」を皮切

りに、「マイ・フェア・レディ」「レ・ミゼラブル」（いずれも東宝）「ベテン師と詐欺師」「The Musical AIDA」「キャバレー」のロングラン公演全国ツアーを成功させ、ライブCD、DVDを発売。また、岩崎宏美、夏川りみ、ダ・カーポら実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでは軽妙なトークも話題となっている。2010年には京都フィル、湖笛の会（フルート・オーケストラ）と共に韓国光州国際音楽祭に招待され、世界的フルート奏者フィリップ・ビエルロ氏らと共演。クラシックにとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。現在、オーケストラMFJ指揮者。関西音楽人のちから「集」代表。2012年より春日井市民第九演奏会音楽監督。

ソプラノ 奥村 育子 Ikuko Okumura

名古屋出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学院を首席で修了。2012年第4回東京国際声楽コンクール オペレッタ部門 第3位、第13回大阪国際音楽コンクール 歌曲コース大学の部 第3位（最高位）、2013年第67回全日本学生音楽コンクール 声楽部門大学の部全国大会 第2位、2015年第7回岐阜国際音楽祭コンクール 声楽部門一般I 第1位、岐阜市長賞、審査員特別賞、文化人特別賞受賞。オペラ「ヘンゼルとグレーテル」「グレートル」「こどもと魔法」炎、リス、「フィガロの結婚」花娘、「カルメン」フラスキータ（ハイライト）、オペレッタ「こもり」イーダ、ミュージ

カル「ライト・イン・ザ・ピアッツァ」クララ役で出演。J.S.バッハ「口短調ミサ」、ベートーヴェン「交響曲第九番」ソプラノソリストとして出演。2014年、ミッドランド7周年記念コンサート「名フィル春の便り2014」にて、名古屋フィルハーモニー交響楽団にソリストとして迎えられ共演。2012年度中村桃子賞、2012年度、2013年度優秀学生賞受賞。第22回丹羽奨励生（大幸財団）。これまでに水野麻美、末吉利行の各氏に師事。

アルト 大田 亮子 Akiko Ohta

名古屋音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。共に首席修了。特待生奨学金を授与される。2004年よりミラノに留学し、国際声楽アカデミー“A. マントヴァーニ”にてディプロマを取得。「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントウツァ役でデビュー。往年のプリマドンナ「M. オリヴェーロ女史102歳記念コンサート」にてL. ヌッチ氏と共に出演し、好評を得る。ヘンデル「メサイア」、メンデルスゾーン「エリア」、ベートーヴェン「第九」、ブラームス「アルト・アブソディ」、ヴェルディ「レクイエム」等、ソリストとして多くの合唱団、オーケストラと

共演。第56回全日本学生音楽コンクール声楽部門名古屋大会大学・一般の部第1位。第40・42回イタリア声楽コンクールソシエナ部門ファイナリスト。第150回日本演奏連盟推薦新人演奏会のオーディションに合格し、名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。2014年に帰国し、後進の指導、合唱指導にも力を注いでいる。現在、名古屋音楽大学講師、名古屋市文化振興事業団芸術文化活動アドバイザー。

テノール 大久保 亮 Ryo Ohkubo

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学院首席修了。これまでに声楽を二宮咲子、近藤恵子、松下雅人、二神二郎、畑儀文の各氏に師事。オペラでは「カルメン」「こもり」「ヘンゼルとグレーテル」「こどもと魔法」「セルセ」「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「フィデルリオ」に出演。宗教曲では、ジャンジル「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、バッハ「マニフィカト」「復

活祭オラトリオ」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「交響曲第九番」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」にテノールソロとして出演。また、バッハの受難曲、ミサ曲では小林道夫氏による指導を受け、氏の指揮する「マイ受難曲」「ヨハネ受難曲」でエヴァンゲリストを、松本バハ祝祭アンサンブル演奏会「ミサ曲口短調」でテノールソロを歌っている。

バリトン 松下 伸也 Shinya Matsushita

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学院修了。モーツァルト「コジ・ファン・トゥツテ」（グリエルモ）でデビュー後、名古屋二期会、名古屋オペラ協会等で「秘密の結婚」（ロビンソン伯爵）、「フィガロの結婚」（フィガロ、アルマヴィーヴァ伯爵、アントーニオ）、「カルメン」（エスカミーリョ、ダンカイロ、ズニガ、モラレス）、「こもり」（ファルケ、フランク）、「椿姫」（ジェルモン）等のオペラ、オペレッタに出演の他、新作初演オペラ公演にも多数携わり、キャスト、合唱指導、制作にも参加し高い評価を得た。コンサートソリストとして「クリスマス物語」「メサイア」「第九」

「レクイエム（モーツァルト）」「ミサ曲（モーツァルト、シューベルト）」「エリア」に出演する。近年、ドイツリートをライフワークとしてシューベルト、シューマン、ブラームス等の作品の演奏活動を繰り返し広げている。その他、サロンコンサート、障がい児対象のお喋り付きコンサートも開催し、クラシック音楽のすそ野を広げるべく活動を行っている。これまでに声楽を藤井京子、福島明也、矢田部義弘各氏に師事する。現在、名古屋芸術大学、愛知淑徳大学各非常勤講師。

オーケストラ 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」春日井市民のオーケストラです。1990年（平成2年）11月に創立され、市内の音楽愛好家を中心に活動しています。団員は、会社員・公務員・教員・自営業者・主婦・学生など様々な職業をもった人からなる約50名で、毎年7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、オーケストラ活動を行っています。「春日井で名曲の演奏を」と心がけ、日々、音楽と向き合い練習を重ねています。井村誠貴先

生に第九の指揮をお願いして、今年で4年目。団員一同、井村先生の情熱溢れる指揮のもと、ひとつひとつの音に魂を込めて演奏します。本日ご来場の皆さまに音楽を聴く喜びを感じただけならば、私たちにこれほど嬉しいことはありません。今後も、春日井市交響楽団にあたたかいご支援をお願い致します。

（団長：稲垣 徹）

合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために一般市民より編成された合唱団です。平成5年、春日井市市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を機に結成され、今年で23回目の演奏会を迎えています。毎年公募による新しい団員を含め、総勢250名になろうかという大合唱団です。平均年齢は60歳を超えてやや高いのですが、中部大学混声合唱団の皆さんの若い力の応援をいただき、元気に第九を歌っています。7月に市長の出席を仰いで結団式を行い、毎週土曜日、松下伸也先生の優しく

丁寧な、また、時にはユーモアを交えた指導のもと、一生懸命練習に励んでおります。慣れないドイツ語の発音に苦労しておりますが、第九のテーマである「人類みな兄弟」という歓びを我々自身も感じながら、演奏会において下さる皆様方に、少しでもその精神を感じていただくよう精一杯歌います。今年は、第九の前に源田俊一郎編曲による唱歌メドレー「ふるさとの四季」より、「故郷」「春の小川」「夏は来ぬ」「紅葉」「雪」を演奏致します。どうぞご期待下さい。

（団長：須藤 章夫）

※都合により出演者が変更になる場合があります。